



# Sun Fire™ V445 サーバー ご使用の手引き

---

Sun Microsystems, Inc.  
[www.sun.com](http://www.sun.com)

Part No. 819-7492-10  
2006 年 9 月, Revision A

コメントの送付: <http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

Copyright 2006 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします)は、本書に記述されている技術に関する知的所有権を有しています。これら知的所有権には、<http://www.sun.com/patents>に掲載されているひとつまたは複数の米国特許、および米国ならびにその他の国におけるひとつまたは複数の特許または出願中の特許が含まれています。

本書およびそれに付属する製品は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社による事前の許可なく、本製品および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

本製品は、株式会社モリサワからライセンス供与されたリュウミン L-KL (Ryumin-Light) および中ゴシック BBB (GothicBBB-Medium) のフォント・データを含んでいます。

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリョービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人 日本規格協会 文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun、Sun Microsystems、AnswerBook2、docs.sun.com、Sun Fire は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社の商標もしくは登録商標です。サンロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

OPENLOOK、OpenBoot、JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。ATOK8 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK8 にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。ATOK Server/ATOK12 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK Server/ATOK12 にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPEN LOOK および Sun™ Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザーインターフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

U.S. Government Rights—Commercial use. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本書には、技術的な誤りまたは誤植の可能性があります。また、本書に記載された情報には、定期的に変更が行われ、かかる変更は本書の最新版に反映されます。さらに、米国サンまたは日本サンは、本書に記載された製品またはプログラムを、予告なく改良または変更することがあります。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法 (外為法) に定められる戦略物資等 (貨物または役務) に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典:	Sun Fire V445 Server Getting Started Guide
	Part No: 819-4664-10
	Revision A



# Sun Fire V445 サーバーの設定

---

この章では、次の項目について説明します。

- 1 ページの「安全性および適合性に関する情報」
- 2 ページの「設置作業の計画」
- 3 ページの「出荷キットの内容」
- 4 ページの「外部システムの説明」
- 6 ページの「ラックレールキットの取り付け」
- 7 ページの「ケーブル管理アームの取り付け」
- 8 ページの「端末サーバーへの接続」
- 9 ページの「ログイン」
- 9 ページの「電源ケーブルの接続」
- 10 ページの「電源の投入」
- 10 ページの「プリインストールされたソフトウェアの設定」
- 13 ページの「電源の切断」

---

## 安全性および適合性に関する情報

『Important Safety Information for Sun Hardware Systems』(816-7190) を読んでください。このマニュアルは、Sun Fire™ V445 サーバーに付属しています。

安全性と適合性に関するさらに詳しい情報については、『Sun Fire V445 Server: Important Safety and Compliance Information』(819-3746) で参照できます。このマニュアルおよびその他すべての Sun Fire V445 サーバーのマニュアルは、次の URL からオンラインで入手できます。

<http://www.sun.com/documentation/>

# 設置作業の計画

次のチェックリストを手順ツールとして使用すると、Sun Fire V445 サーバーの設置作業に役立ちます。

表 1 設置手順

手順	作業	参照先
1.	サーバーを開梱し、サーバーの機能を確認します。	3 ページの「出荷キットの内容」。 4 ページの「外部システムの説明」。
2.	DIMM、PCI カード、またはハードドライブなどのオプションのコンポーネントがある場合は、これを取り付けます。	『Sun Fire V445 Server Service Manual』(819-3742) またはコンポーネントに付属のマニュアル。
3.	サーバーをキャビネットに取り付けます。 ケーブル管理アームを取り付けます。	6 ページの「ラックレールキットの取り付け」 7 ページの「ケーブル管理アームの取り付け」
4.	サーバーと外部デバイスのケーブルを接続します。	8 ページの「端末サーバーへのケーブル接続」。
5.	サーバーの電源を入れます。	10 ページの「電源の投入」。
6.	Solaris™ ソフトウェアのプロンプトに答えます。	10 ページの「プリインストールされたソフトウェアの設定」。

注 - このマニュアルを含む最新のマニュアルは、  
<http://www.sun.com/documentation> から入手できます。

## 出荷キットの内容

次の図に、出荷キットの内容を示します。表示されている部品がすべてそろっていることを確認してください。不足している部品がある場合は、ご購入先にお問い合わせください。

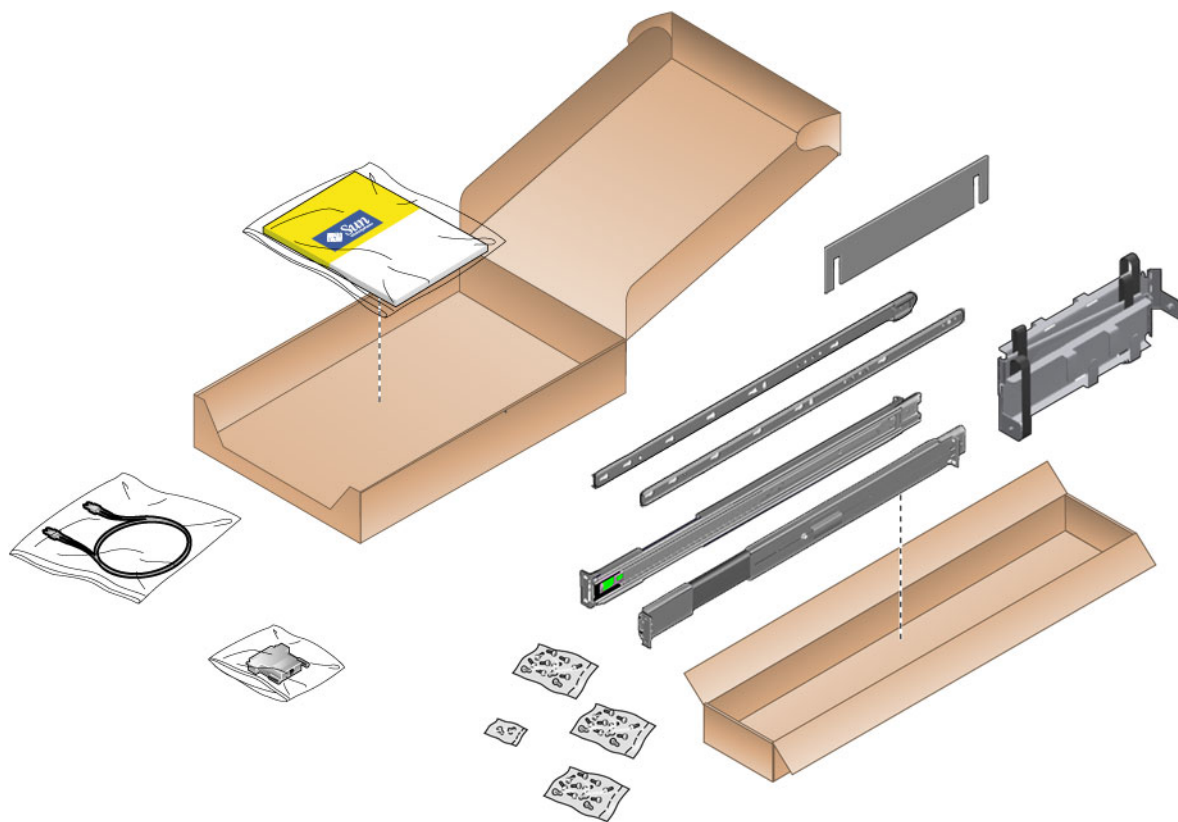


図 1 Sun Fire V445 サーバーの出荷キットの内容

## 外部システムの説明

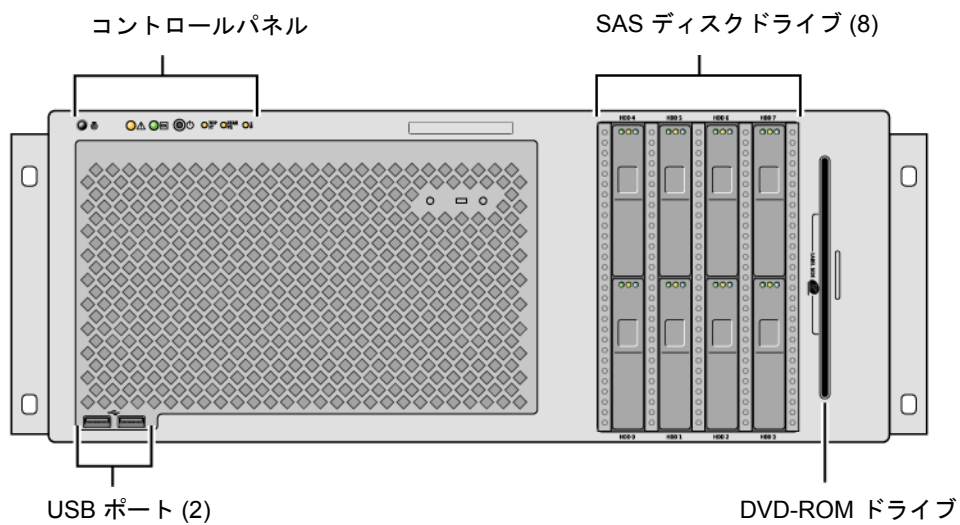


図 2 システムの正面

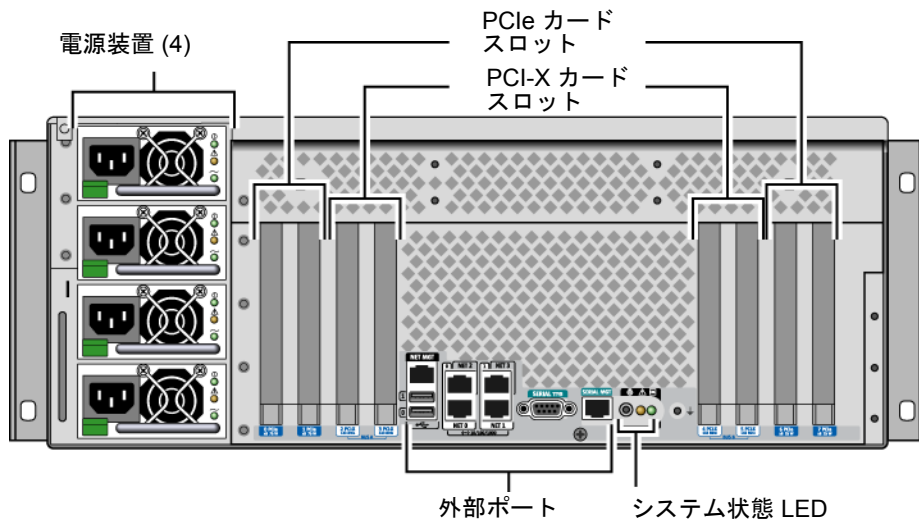


図 3 システムの背面

## ラックレールキットの取り付け

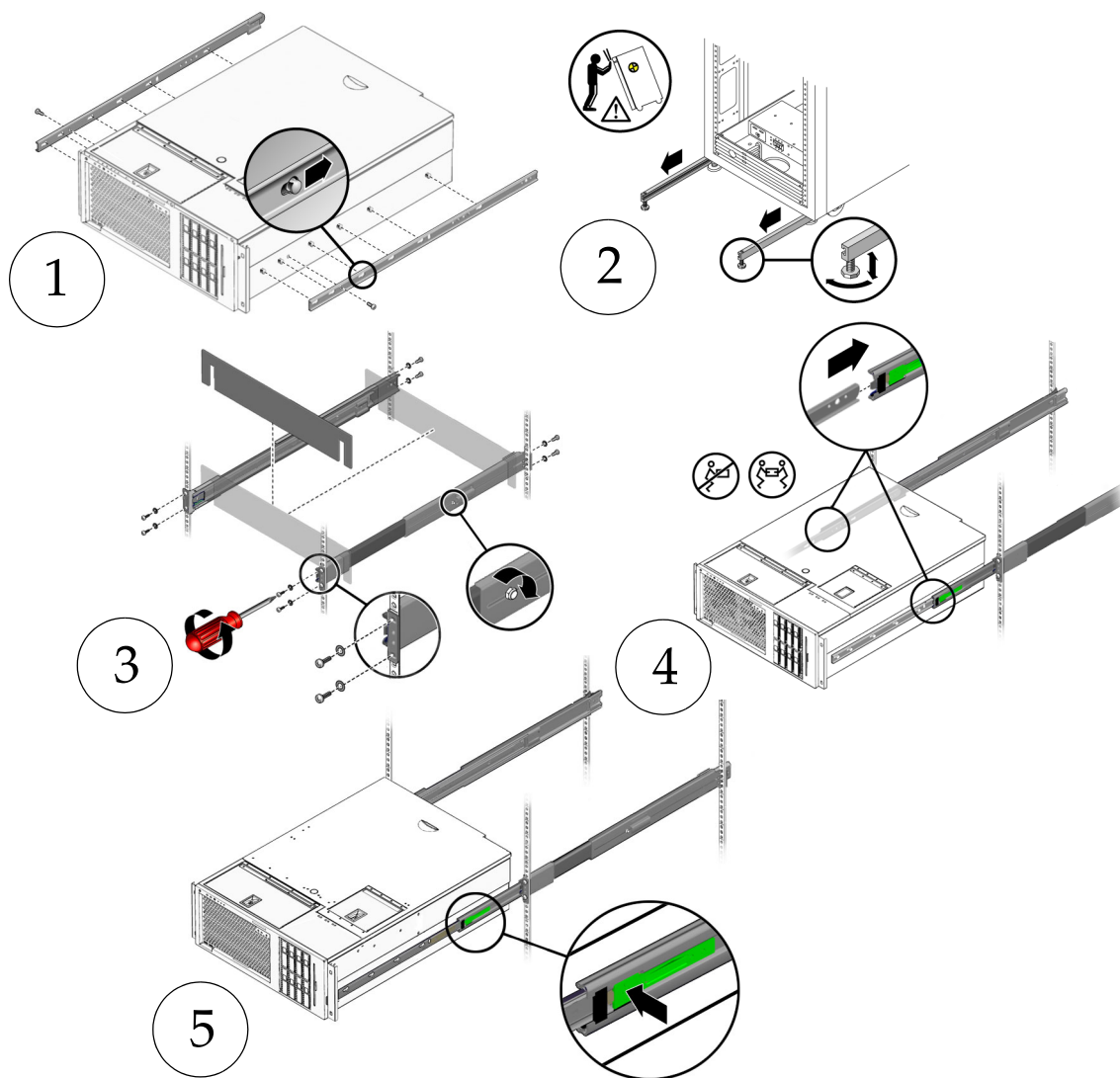


図 4 ラックレールキットの取り付け

注 – ラックの取り付け手順については、『Sun Fire V445 Server Installation Guide』を参照してください。



## ケーブル管理アームの取り付け

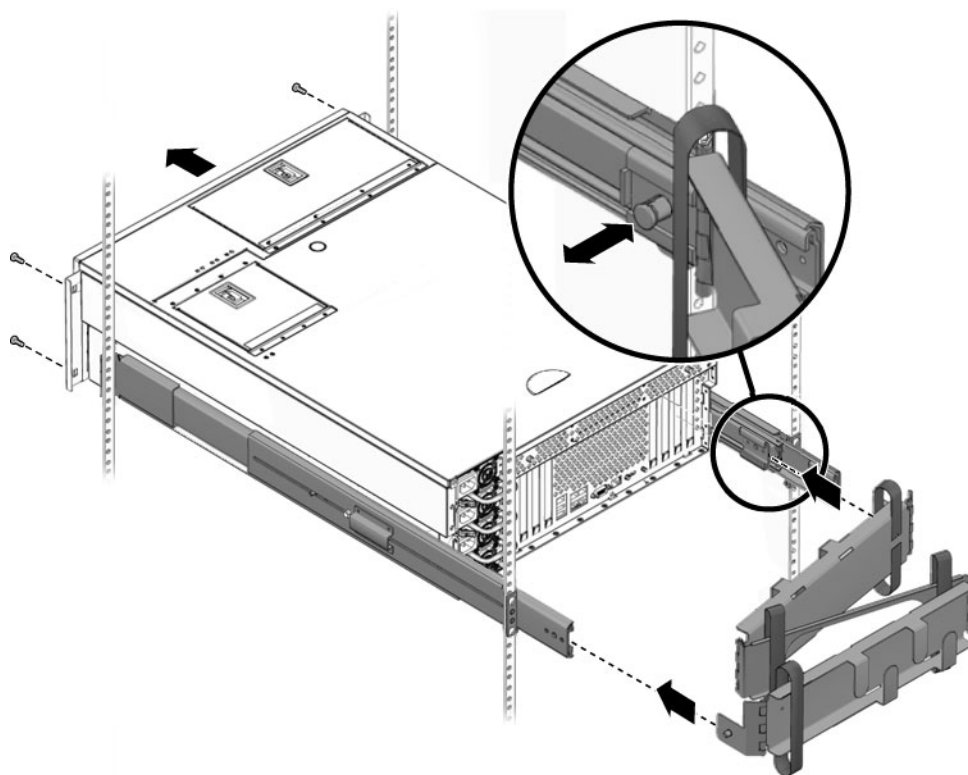


図 5 ケーブル管理アームの取り付け

## 端末サーバーへの接続

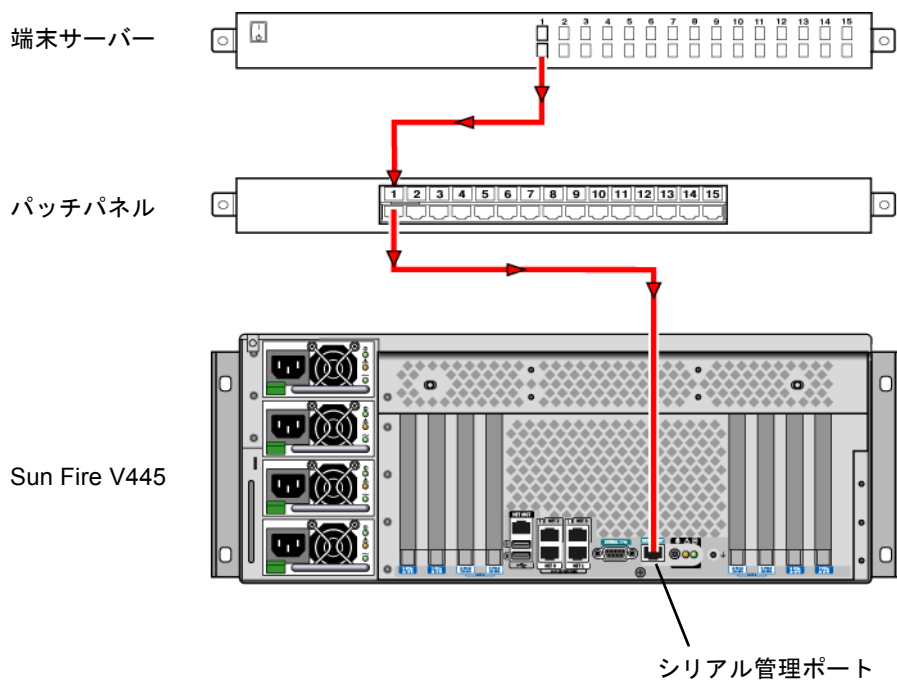


図 6 端末サーバーへのケーブル接続

## ログイン

- 次のように入力します。

```
# telnet IP-address-of-terminal-server port-number
```

## 電源ケーブルの接続

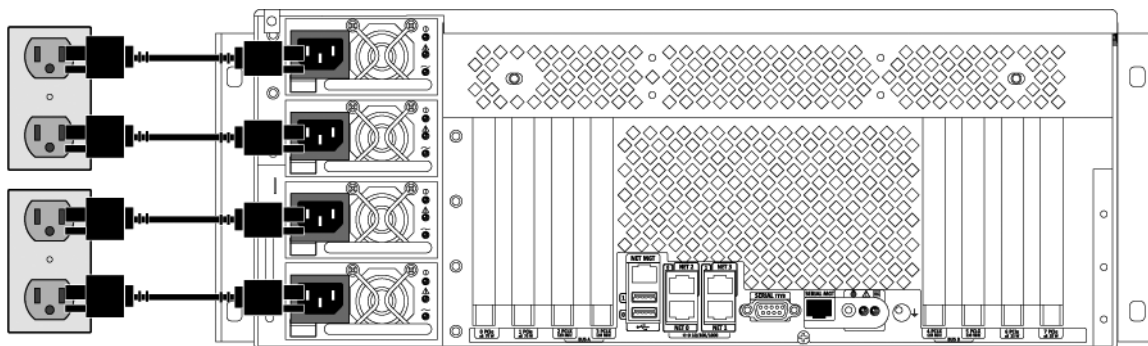


図 7 電源ケーブルの接続



**注意** – 漏れ電流の増加に注意してください。3.5mA を超える漏れ電流の発生を防ぐため、1つの分岐回路には最大2本の電源コードを接続できます。残りの2本の電源コードは、別の分岐回路に接続してください。

**注** – N+2 の冗長性を確保するため、別々の回路を使用してください。特定の手順については、『Sun Fire V445 Server Installation Guide』を参照してください。

---

## 電源の投入

- 次のように入力します。

```
sc> poweron
sc> console
ok
```

---

## プリインストールされたソフトウェアの設定

設定を開始する前に、設定プロンプトに答えるために使用するサイトの固有情報をシステム管理者 (SA) から入手してください。いくつかの情報は、使用しているネットワークから取得できる場合があります。SA に確認してください。ネットワークシステムの場合は、Solaris™ オペレーティングシステムを設定する前に、表 2 のコピーを使用して、収集が必要な可能性のある情報を書きとめておいてください。スタンドアロンシステムの場合は、Solaris オペレーティングシステムを設定する前に、表 3 のコピーを使用して、収集が必要な可能性のある情報を書きとめておいてください。

表 2 ネットワーク接続された Solaris オペレーティングシステムについて収集する情報

Solaris 10 インストールウィンドウ	説明および注	ユーザー情報
Solaris リリース	Solaris 10 HW 6/06 オペレーティングシステムのリリースを選択します。	
言語およびロケールの選択	サーバーで使用するネイティブ言語およびロケール。	
サーバーのホスト名	サーバーの名前を選択します。	
サーバーのホスト IP アドレス	この情報は、システム管理者から入手します。	
ネームサーバーのホスト名	この情報は、システム管理者から入手します。	
ネームサーバーのホスト IP アドレス	この情報は、システム管理者から入手します。	

表 2 ネットワーク接続された Solaris オペレーティングシステムについて収集する情報 (続き)

Solaris 10 インストールウィンドウ	説明および注	ユーザー情報
ネットワーク接続プロトコル: bge DHCP IPv6	<p>ネットワークサーバーまたはスタンダードオンサーバーのプロトコル。この項目は、システム管理者が記入する必要がある場合があります。</p> <p><b>注:</b> ネットワーク接続プロンプトに回答する方法やネットワークから提供される情報によっては、サーバーのホスト IP アドレスの入力を求められることがあります。</p>	
Kerberos セキュリティー	<p>Kerberos セキュリティーの設定を拒否するか、または受け入れます。</p>	
ネームサービス (種類)	<p>使用するネームサービスを選択します。 NIS+、NIS、DNS、LDAP、または None のいずれかです。</p> <p><b>注:</b> サーバーがネットワークに接続されていない場合、このウィンドウは表示されません。</p>	
ドメイン名	<p>このサーバーの NIS または NIS+ ドメインを選択します。</p> <p><b>注:</b> サーバーが NIS または NIS+ サービスを使用していない場合、このウィンドウは表示されません。</p>	
ネームサーバー/サブネット/サブ ネットマスク	<p>ネームサーバーを指定するか、サーバーにローカルサブネット上でネームサーバーを検出させます。</p> <p><b>注:</b> サーバーがネットワークに接続されていない場合、このウィンドウは表示されません。</p>	
タイムゾーン	<p>地理的な位置、GMT オフセット、またはタイムゾーンファイルによって、現地のタイムゾーンを選択します。</p>	

表 3 スタンドアロンの Solaris オペレーティングシステムについて収集する情報

Solaris 10 インストールウィンドウ	説明および注	ユーザー情報
サーバーのホスト名	サーバーの名前を選択します。	
言語およびロケールの選択	サーバーで使用するネイティブ言語およびロケール。	
タイムゾーン	地理的な位置、GMT オフセット、またはタイムゾーンファイルによって、現地のタイムゾーンを選択します。	
日付と時間	現在の日付と時間を選択します (または、デフォルト設定を使用するか、現在の日付と時間を入力)。	
スーパーユーザーとパスワード	スーパーユーザーの ID およびパスワードを入力します。	

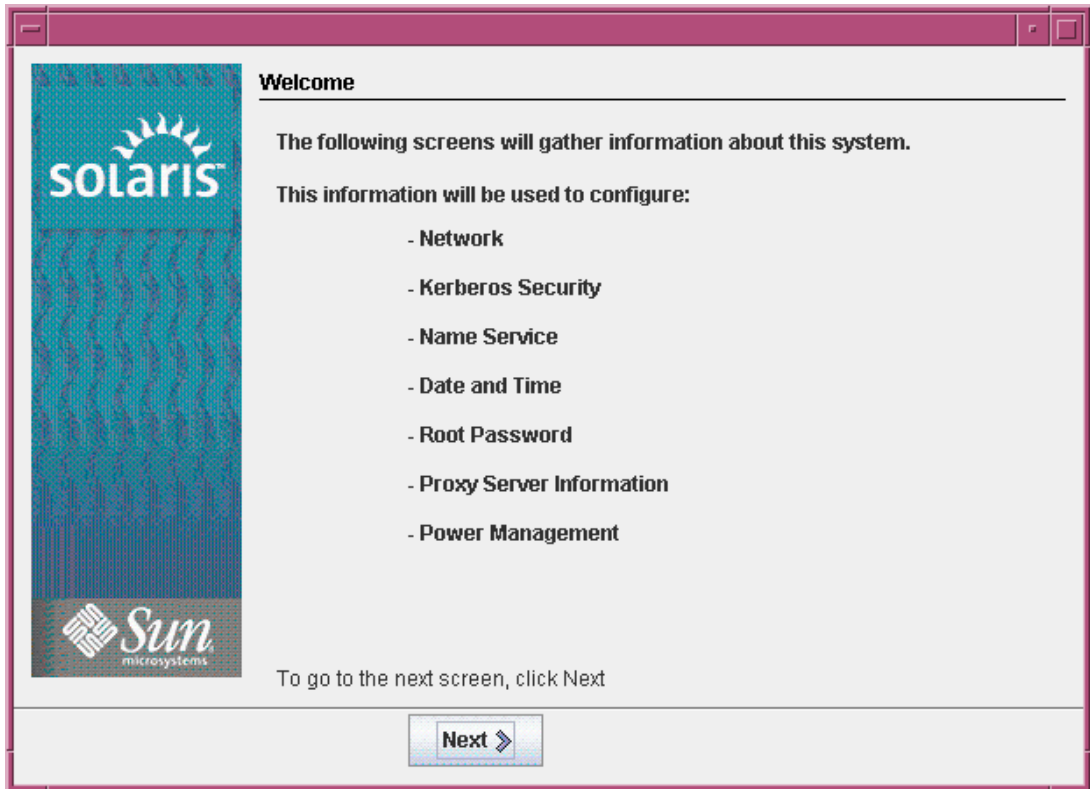


図 8 Solaris オペレーティングシステムの開始画面

## 電源の切断

- 次のように入力します。

```
# #.  
sc> poweroff
```

